

平成31年度海田南小学校経営計画

平成31年度広島県道徳教育研究指定校（海田中校区）

学校教育目標

考え 実践する 海田南っ子

JAK+H

めざす学校 現状に満足せず、常にチャレンジ精神をもって教育を展開する学校

- 子ども：「自分のよさが発揮でき、学習することが楽しいと感じることができる」学校
- 保護者・地域：「子どもを通わせてよかった、学校があつてよかったと思える」学校
- 教職員：「一人一人の持ち味が発揮でき、チームで動き、やりがいのある」学校

めざす子ども像

か

い

た

考えぬく頭

意気高い心

たくましい体

- ◆自ら考え、『見方・考え方』を豊かにし、深い学びをする児童
- ◆学びのための習慣と基礎・基本の学力の定着した児童
- ◆進んで読書をする児童
 - ・研究主題設定と研究推進（授業研究）
家庭・地域と連携した体験活動を生かした道徳の授業（授業・評価）
 - ・学びの変革（対話的な深い学び）
課題発見解決学習・対話の話型カリキュラム・マネジメント
 - ・一人年間一回以上研究授業
 - ・外国語活動の充実（JALTとの連携）
 - ・基礎学力の向上（考えるノート指導・意味ある家庭学習の習慣）
 - ・CRT/NRTを活用した学力向上
 - ・朝ぐんぐんのタブレット活用と繰り返しプリント（音読・計算）
 - ・カリキュラムボックスの充実・整理
 - ・読書の推進（ファミ読・司書連携）

- ◆自らを律しつつ、友達と協力し、人や物や場を大切にする児童
- ◆響きあう美しい歌声の児童
- ◆共に生きる児童（特別支援教育の充実）
 - ・生徒指導（あいさつ、スリッパ、返事）
（児童会と連動した生活目標の実施）
 - ・生活指導（「南小がイブック」活用推進）
 - ・生徒指導主事との連携による生徒指導
 - ・きれいになる無言清掃活動・無言集合
 - ・児童会を中心にボランティア活動の推進、代表委員会の運営、委員会活動、地域の人材を生かしたクラブ活動の計画・運営・反省
 - ・異学年交流活動（ペア学年）（遊び）
 - ・特別支援教育の充実（ユニバーサル・デザイン）
力の付く交流及び共同学習等の実施
 - ・幼保小接続プログラム
 - ・アイチェックの活用

- ◆自らの体力を目標をもって向上させ、健康な生活を創る児童
- ◆人や自分の命を大切にし、安全な生活を自分で創る児童
 - ・養護教諭・栄養教諭と協働した保健・食育の立案と推進
 - ・体力づくりの計画・運営
重点項目の体力向上
体力テストの測定の適正化
体力づくりタイム（なわとび、マラソン、海田南小サーキット、表現活動を工夫した運動会）の工夫
 - ・登校指導、登校班指導、全校下校（マナー、集合時刻、無言集合）
 - ・安全教育（引き渡し訓練、必然のある避難訓練、防犯教室、スマホ教室等）
 - ・教職員の危機対応研修
 - ・環境教育（校内掲示、緑化等）
 - ・安全点検
 - ・遊具等の安全点検と整頓・管理
 - ・感謝の会の意義

みな・み

みなぎる・みんなの力で、子どもを育てる

◆教育のプロとしての自覚と誇りをもつ教師

- ・授業力：「自分の持ち味を生かし、わくわくした授業を展開できる」
- ・包容力：「子どものよさも課題もまるごと受けとめ、導くことのできる」
- ・創造：「自らを向上させようと、常に新しいことを学び続ける」・計画性「時間の使い方と優先順位」
- ・協働：「チームを組み、励ましあい、指摘し合える」
- ・人間性：「礼節を身に付け、人として、社会人として信頼できる」

◆家庭・地域との連携

- ・積極的な情報公開・発信（学校公開・ホームページなど）
- ・丁寧な家庭連携・地域行事（とんど・スポーツ大会など）への積極的な参加

めざそう！納豆の組織



知

覚

動

考